

広町畑の会定例活動記録

'23.07.16 世話人 森田邦彦

2023年7月16日(日) 8:30—12:00 天候： 快晴 気温： 26℃ → 31℃ 暑い！

1. 参加者 (氏名順不同、敬称略)

金子貴美、亀倉博子、大山珠子、長曾我部桂子、岡田涼子、清水愛穂、荒川聡介、荒川尚太、金森英樹、黒川 弘、
刈本哲夫、外崎寿昌、大田真人、大田直太郎、森田邦彦 計15人

2. 活動内容

(1) 第1畑A区、G区、H区へ散水した

上記の3区画は7/10 腰越小学校5年生約70人がダイズ(小糸在来種)を播種したところだが、播種日以来降雨がなく乾燥の状態が続いており、発芽の気配がない状態である。ホースとスプリンクラーを設置して散水した。30℃を超える炎天下であり、発芽を促す効果は不明である。ホースの長さが不足し、A区は散水が十分できなかったところもあった。

(2) チップの運搬 (H区堆肥場→第2畑1区)

チップをつめたガラ袋 約15袋をリアカーを使って第1畑の堆肥場から第2畑へ運んだ。(4~5回) 運搬も散布にもガラ袋の使用が都合のいいことが分かった。

(3) サツマイモ苗の定植地の除草とチップマルチ (第2畑1区)

7/15に刈り払い機を使った除草器(新機器)で除草したが、そのあとをさらに手鎌で除草したあと、畝上のサツマイモ苗を中心にチップでマルチした。

(4) 定植に失敗したところに、サツマイモ苗の再定植をした (第2畑1区ほか)

何らかの理由で苗の定植に失敗したところに新たに苗を植えた。(乾燥が続くことが主因と思われる。)

(5) 第11回 サツマイモ苗の採取と定植 (E区育苗温床 → 第2畑1区ほか)

今回の採苗はこれまでの定植地での定植が失敗したところへ再定植した。30本採取、**累計512本**

(6) 草刈り (第2畑3区、4区5区のサトイモと第2畑の園路の草刈り)

第2畑3区、4区のサトイモ栽培地は雑草で覆われていて、畝間の雑草をまず刈り払い機を用いて荒刈りし
そのあと、手鎌で畝のサトイモ周辺の雑草を取り除く順序で除草した。この後のチップマルチが必要。

(7) ニンジン栽培地づくり (第1畑A区南)

すでに耕耘した栽培予定地[20mx4列]に糸を張り、三角ホーで溝をつけた後、鶏糞とセルカ(貝殻石灰)を施肥。
炎天下のため、播種は降雨があったあとの1週間後にしたい。



サトイモ畑の除草(1)



サトイモ畑の除草(2)



除草後チップマルチしたサツマイモ栽培地
苗の定植が失敗したところへ補植している

3. その他

(1) 7/10 1:40~2:10 腰越5年生約70人受入れ：ダイズ播種(A区、G区、H区)~岡田、大山、森田が対応

(2) 8/13(日)は恒例により、定例活動を休止します。(お盆やすみ)

4. 次週の活動予定：2023年7月23(日)

活動内容~ ① サツマイモ苗の採取と定植(第12回) ② 除草後のサトイモ栽培地(第2畑)にチップマルチ

③ 第2畑へチップの運搬と散布 ④ 第2畑サトイモ株移植 ⑤ 長ネギ苗定植

任意 [臨時] 活動記録(追記)

- ・2023.7.10(月) AM1人(森田)~G,H区の機械耕耘、糸張り、施肥、溝付け、
PM3人(岡田、大山、森田)~腰越小 5年生70人受入れ：大豆の播種：上記3.の(1)
- ・2023.7.11(火) 1人(森田)~糸はずし、E区サツマイモ畑の除草と藁マルチ、
- ・2023.7.13(木) 1人(森田)~第1畑周辺の草刈り、第1畑東柵の一部改修、柿の木の枝の剪定
- ・2023.7.15(土) 1人(森田)~第1畑A区コンニャクと落花生の除草とマルチ、第2畑A区の除草